

SAKASO

「さかそう」



特集 専門職に聞いてみよう
感染管理特定認定看護師
のこと。



2024.10 Vol.68

お知らせ

「坂総合病院 市民公開講座」を開催します

テーマ

「健康診断結果、あなたはどこをみていますか？」

「心臓病について(高血圧・狭心症・弁膜症・心不全)」
坂総合病院 循環器科医師 佐藤匡也

「介護のしくみと使い方」
坂総合病院 介護保険室 鈴木由香里

※演題は変更になる可能性があります。
詳しくは当院ホームページや院内外のチラシをご覧ください

- 日時: 2024年11月30日(土) 10:00~11:30
- 場所: 塩釜市公民館 大会議室(塩釜市東玉川9-1)
- 定員: 100名
- 参加費: 無料(要事前申込)
- 問合せ・事前申込み:
022-367-9027(坂総合病院 地域健康課)
または右のQRコードからお申し込みください



診療予約・変更・お問合せ

まずはコールセンターへお電話いただき
ご確認をお願いいたします。

コールセンター **022-361-8288**

- 平日 8:30~16:30(小児科のみ8:00~)
 - 土曜 8:30~11:30(小児科のみ8:00~)
- ※日曜・祝祭日、年末年始(12/30~翌年1/3)、8/16(お盆)は休業。

- ◎紹介状をお持ちの方は、必ずその旨をお伝えください。
- ◎上記時間以外で救急診療のお問合せは、病院代表番号(022-365-5175)にお電話をお願いします。

詳細はwebサイトでもご確認いただけます。

坂病院 検索 <https://www.m-kousei.com/saka/>

表紙について

「東参道周辺の鬱蒼とした雰囲気が好き」と
思い出話を交えながら語る菅波さん。撮影直
前まで降り続いた雨が参道と木々の緑を美しく
見せ、情緒を感じさせる写真になりました。

●表紙撮影/志波彦神社 鹽竈神社



電車の場合 ▶ JR仙石線・下馬駅下車。駅前が当病院です。

お車の場合 ▶ 第三駐車場は、当院ご利用の方は無料です。
第三駐車場と病院間の送迎バスを運行しています。

SAKASO 坂総合病院 広報誌[さかそう]
2024年10月1日発行



〒985-8506 宮城県塩釜市錦町16-5 <https://www.m-kousei.com/saka/>
【広報誌に関するお問合せ】Tel 022-365-5175(代)



毎回特集内容を変え、病気や病院のあれこれを発信。今回は「感染管理特定認定看護師」について紹介します。

特集

専門職に聞いてみよう

感染管理特定認定看護師のこゝと。



正しい方法が徹底されているか、スタッフの手洗い手順をチェックする菅浪さん。「スタッフ一人ひとりがどれくらい感染対策に重きを置いてくれるか。そこに働きかけるのも私の役目です」

塩釜市を中心に地域の医療を支える坂総合病院。適切な治療と高度な技術で人々を支えています。今回は、感染の対策からマネジメントまで担う「感染管理特定認定看護師」について聞きました。

菅浪 昌子 (すがなみ あつこ)

宮城県出身。県外の病院勤務を経て、2011年坂総合病院に入職。2023年12月に感染管理特定認定看護師の資格を取得。感染制御室に所属し病院全体の感染対策を担うほか、感染制御医師や臨床検査技師、薬剤師とともに感染対策チームでの活動にも力を入れている。

システムまで管理するそれが感染対策の要

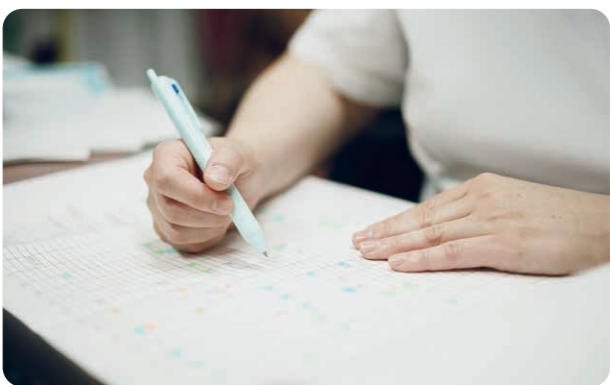
感染管理特定認定看護師の仕事は、「病院感染を減少させ、患者、面会者、医療従事者の安全を確保する」ことが目的です。そのため病棟で患者さんと直接接するような仕事とは異なり、感染発生率のサーベイランス、関係部署と連携したファシリテーター・マネジメントの実践や感染対策教育をメインの業務としています。パソコンの前で感染に関係する様々なデータを見ている時間が多く、感染対策のシステムをどんなふうに管理するか考へることもこの仕事の特徴です。さらに、病院全体の水質や滅菌状態を確認することや、スタッフに向けて手指消毒や防護服の着用方法などの感染対策教育を行うことも大切な業務となっています。実は、認定看護師の中で「管理」という名が付いているのは感染管理特定認定看護師だけ。病院全体を管理することにも目を向けなければ、感染はコントロールできないと考えています。

手指の洗浄・消毒が日々、徹底されるように

私たちはここ数年で新型コロナウイルスの感染拡大を経験しました。今でも感染対策に気を付けている人はたくさんいるかと思いますが、感染対策は「基本的なこと」を守るに尽きます。「基本的なこと」とは、手を洗うこと。院内のスタッフであれば、加えてマスクやエプロン、ゴーグルを適切に着用することです。しかし、日常的に継続するのが感染対策の難しいところ。それを「徹底してね」と伝えるのが私の役割です。病棟に立ち寄った際には「手を洗っているかな」「手袋はきちんと交換しているかな」とスタッフの行動をチェックして、感染対策が徹底されているかどうか、そして私が周知した感染対策の方法が正しく伝わっているかどうか確認するようにしています。しかし、患者さんの状態によっては感染対策の徹底が難しいことも事実です。感染症の有無に関わらず、すべての患者さんのケアに適応される「標準予防策」を理解し遂行することは私にとって永遠の課題になっています。

感染に関心を寄せてもらう道をつくっていききたい

2023年に資格を取得したばかりの私はまだまだ知識が足りない1年生みたいなものです。それでも今後は、感染対策チームをもっと活発化させていきたいと考えています。そのひとつが、5年後、10年後に次の世代にチームを引き継ぐことになった時に、院内で感染対策の管理がしやすく、さらに感染に興味を持ってもらえる環境をつくっていくこと。院内のスタッフは誰もが感染のスペシャリストではないけれど、たくさんの人たちをつなぎ、感染に興味・関心を持ってもらえる道をつくるために、チームで取り組んでいくことが目標です。残念なことに、感染症を思うと差別の目を向けられることがあります。だからこそ感染対策の原点は、目の前の人に対する優しさから始まるのかもしれない



コロナウイルスに罹患した患者さんや関わったスタッフの行動をリスト化し、発生源を調査した際に使用した表。「疫学調査」を呼ばれるこの業務は、すべて菅浪さんがひとりで行ったという

—— 感染対策の原点は、目の前の人に優しい気持ちを持つこと ——

#13 自宅で行う簡単ストレッチ①

「みやぎ東部健康福祉友の会」が毎月オンラインで開催している「自宅で簡単健康ストレッチ」。そこでも紹介されている簡単な運動を連載で紹介します。初回は肩こりにも効果的なストレッチです。

寒さでこわばる体をほぐす「背中伸ばし運動」

- ① 大きな丸太を抱えるように指を組み、へそをのぞき込むような姿勢を取る。
- ② 息を軽く吐き出しながら背中を丸めていく。
- ③ 腕や背中はそのままで、ゆっくり呼吸を続けながら腕を前方へ突き出していく。
- ④ 息をゆっくり吸いながら①の状態に戻り、腕を楽にしながら最後に背筋を軽く伸ばす。



「運動療法センターのびのび」とは…?

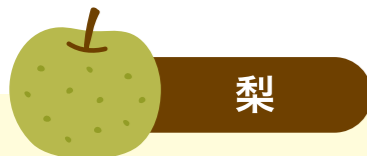
坂総合クリニック1号館6階にあるメディカルフィットネス。健康増進・疾病予防運動、生活習慣病の運動療法、介護予防運動などを実践する施設です。

※現在は感染症対策のため、特定の病気の重症化予防を目的として個別にご利用いただいています

栄養手帖 ■■ -食養室だより-

秋の果物の栄養素を知ろう！

行楽の秋、スポーツの秋、そして“実りの秋”になりました。旬の果物に含まれる栄養素を知り、この秋を健やかに過ごしましょう！



梨

水分が多いため栄養が少ないと思われがち。しかし実は多くの栄養素が含まれています。

食物繊維

腸内環境を整え、血糖値の急上昇を抑制

カリウム

摂りすぎた塩分を調整

カテキン(ポリフェノール)

コレステロールの吸収を抑え、肥満を予防



ぶどう

皮にはポリフェノールがたっぷり！そのため、皮ごと食べられるぶどうがおすすめです。

ぶどう糖

疲労の回復を助ける

アントシアニン(ポリフェノール)

動脈硬化予防や眼精疲労の回復に役立つ

コラゲナーゼ(ポリフェノール)

肌のシワやたるみの予防に効果あり



柿

干し柿は生柿の8倍以上の食物繊維が含まれていますが、糖質も多くカロリーが高いため食べ過ぎには注意！

食物繊維

腸内環境を整え、血糖値の急上昇を抑制

β-カロテン

生活習慣病や風邪予防に効果あり

ビタミンC

皮膚のハリを保ち、動脈硬化を予防

支えるひとたち



第40回
看護部長室

坂総合病院を、そして患者さんを支える人々。その「人となり」に迫ります。

人見知りを克服するために、コミュニケーション能力が必要な仕事に就きたかったこと。まだ男性看護師が少ない頃から、人と違う仕事をしたかったこと。そうした理由で看護師になり、今年で28年目。今では手術室の管理業務や副看護部長としての業務だけでなく、様々な委員会への参加やDMAT（災害医療派遣チーム）隊員としての活動も行なっています。長く急性期医療に関わる中、回復した患者さんの姿を見てよかったと感じる一方で、様々な職種や部署との調整を行う管理業務には難渋することが多いです。今後は「誰のために医療・看護を提供するのか」を意識し、主語を「患者／患者家族」として物事を考えることを大切にしながら、患者さんを思い、難しい状況でも工夫や改善に取り組み人材を育てていきたいです。

次号は

〈検体検査室〉
高城 二恵



DMATについて指導する時のテキストと、災害現場で被災者の容態を判別する時に必要なトリアージタグ。どちらも私の仕事に不可欠なものです。



渡邊 一也 (わたなべ かずや)
看護部長室 副看護部長・手術室看護師長

村上 隼人 (むらかみ はやと)
課長

毎月のべり1000名前後の患者さんが利用している坂総合クリニック。その中で私たちは診察の受付やレジ、会計入力、検査の予約などの窓口業務や、レポート作成などの請求業務を行っています。初めて当院を受診した患者さんのカルテの作成や保険証の登録・確認を行うのも私たちの仕事。代表電話への対応や治療費や受診料の支払いが難

しい患者さんに無料低額診療を提案できるように他部署と連携を取ること、数ある業務の中のひとつです。レジの担当者は受診当日の検査がすべて終わっているか注意しながら金銭の授受を行っているので、検査が未実施のまま患者さんが帰宅することがないように最後の砦のような大事な役割も担っています。

小児から高齢者まで、幅広い患者さんを受け入れている坂総合クリニックですが、患者さんと直に接する業務を担う私たちは丁寧な対応や言葉遣いを心がけています。以前、レジでお釣りを渡す時に数えやすいよう小銭の種類を分けてトレーに置いたところ、その配慮に気付いてくれた患者さんから感謝されたことがありました。今後も患者さんの希望に寄り添い、なるべく待たせることのないスムーズな診察や検査ができるように取り組んでいきたいです。



連携医のご紹介

加瀬クリニック

[小児科]



院長
石田 智之 先生
(いしだ ともゆき)



小児科
加瀬クリニック

〒981-0111
宮城県宮城郡利府町加瀬字北窪16-1
加瀬ウェルネスタウン内
TEL 022-349-1718
<https://www.kase-clinic-rifu.com/>

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00 - 12:00	○	○	○	○	○	○	○
13:30 - 17:00	○	○	○	○	○	○	○

休診日/月・火・祝日
※受付時間は診療時間の開始30分前から終了30分前まで



子どもたちとその家族の笑顔のために

加瀬クリニックは、介護老人保健施設である加瀬ウェルネスタウン付属のクリニックとして、これまで内科をメインに診療してきました。今回、小児科医である石田の赴任に伴って、2024年5月より新たに小児科のクリニックとして再スタートを切りました。プライマリケアの受け皿としての役割を担いつつ、坂総合病院など地域の病院と緊密に連携を取りながら診療を行っています。事前ネット予約やウェブ問診を導入し、院内での待ち時間がなくなるよう努めています。また他のクリニック

クが休みになりやすい水曜日や土日も診療を行っています。駐車場も多く用意しているので、気兼ねなくお車で来院いただけます。施設内にあるカフェや駄菓子屋も利用いただけます。また利府町認可の「なしの美保育園」や職員以外も利用できる託児所「たけの子保育園」もありますので、見学希望の方はお声がけください。子どもたちとその家族を笑顔にすることを目標に、心の通う良質な医療を心がけ、地域医療の一端を担っていきたくと考えています。

坂総合病院から

加瀬クリニック、そして加瀬ウェルネスタウンの皆さまには日頃よりお世話になっております。新たに小児科を開院されたとのことで、地域により深く貢献されることを心より期待しています。当院小児科との連携、介護利用者の支援など、一層の連携を深めていきたいです。今後ともよろしくお願いたします。

2号館

- 4F 外来(小児科)、事務室、心理室
- 3F 外来(循環器科、糖尿病、漢方、高脂血症)、食事相談室
- 2F 外来(内科、呼吸器科、心血管外科)
- 1F 受付・会計、処置室、検査室、放射線室

1号館

- 8F 図書室、会議室、資料室
- 7F デイケア室、介護保険室
- 6F 運動療法センター、クリニック所長室、クリニック看護部長室、クリニック事務長室
- 5F 事務局長室、看護部長室、事務部長室、総務課、クリニック診療サービス課
- 4F 医局、院長室、副院長室
- 3F 患者さま図書室、友の会室、地域健康課、健康管理室(健診科)、患者教室、宮城県厚生協会本部事務局、総務
- 2F 外来(耳鼻科、形成外科、産婦人科、血液科、眼科)、化学療法センター
- 1F 外来(外科、泌尿器科、皮膚科、腎臓内科、脳神経外科、リハビリテーション科)、在宅医療室、処置室、受付・会計、相談室
- B1F 中央検査室、物流センター、施設サービス課

